

島根大学支援基金へのご協力のお願いと 島大会員のご案内

島根大学は、昭和24年の創設以来、島根県にある国立大学「地（知）の拠点」として、知的・文化的水準の向上に貢献するとともに、様々な分野で活躍する約6万人の有為な人材を世に送り出してきました。

本学は、これからも「地域に根ざし、地域社会から世界に発信する個性輝く大学」として、県内をはじめ広く国内外で活躍できる人材を養成して参りますが、本学の使命を果たしていくためには、運営費交付金に依存しない財政基盤の構築が不可欠です。

このような中、平成18年度に設立した「島根大学支援基金」につきましては、これまで多くの皆様にご協力をいただき、学生の修学支援等に活用させていただきました。これからも経済的な理由により修学が困難な学生や、海外留学でグローバルな感性や視点を身につけようとする学生等の活動を後押しするため、一人でも多くのご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

また、平成29年10月には、同基金を通じて本学を応援してくださる皆様と絆を深めていくことを目的に「島大会員」を発足させました。会員の皆様には、本学の活動等に係る情報発信、会員相互或いは本学と会員とのより良い関係を築くための交流企画の他、寄附金額に応じた特典をご用意しておりますので、是非ともご加入いただきますよう、併せてご案内申し上げます。

国立大学法人島根大学

学 長

服部泰直



島根大学
支援基金

グローバルな感性と社会人を身に付け、
自ら学ぶことのできる学生を支援



ご寄附の使途

基金の使途について、下記A～Cよりご選択ください。複数の使途にご寄附をいただく場合は、それぞれに金額をご記入願います。選択されない場合は、Aを選択されたものとしてお取り扱いいたします。

A 経済的理由により修学が困難な学生に対する支援

「夢チャレンジ奨学金」の支給

本学には、経済的理由により日々の学生生活に困窮している学生が数多く在籍しています。「夢チャレンジ奨学金」はこうした学生に支給し、経済的理由により学業を断念することがないよう負担の軽減を図ることを目的としています。

学部1年次入学生を対象に、入学時の経済的負担を軽減し、経済的理由により学業を断念することなく、充実したキャンパスライフや将来の夢実現に向けたチャレンジができるよう応援することを目的に創設された奨学金です。



B 大学の教育・研究活動等に対する支援

「県内定着支援金」の支給

本学が取り組んでいる「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業」（COC+事業）では、平成31年度に卒業生の島根県内定着率が42.5%となることを目標としています。この一助とするため、平成31年度事業として、島根県内に就職・定住し地域の活性化に貢献する学生を応援することを目的とした「県内定着支援金」を創設しました。

スタートアップ（学生ベンチャー）に係る奨励金の支給

本学は島根大学発学生ベンチャーを応援しています。このため、ベンチャービジネス、NPO及びNGOの設立を目指し、起業活動をおこなう本学の学生（学部生・大学院生）に奨励金を支給し、経済的負担の軽減を図ることで、島根大学発学生ベンチャーを推進しています。

「グローバルチャレンジ奨学金」の支給

本学の目標として、グローバル化の推進並びにグローバルな視野を持った人材を養成するため、学生の海外派遣数を増加させることとしています。これを推進するため、留学や海外研修等にチャレンジする学生に「グローバルチャレンジ奨学金」を支給・支援しています。

「長期インターンシップ支援金」の支給

長期インターンシップを活用して実務的なスキルや経験を積み、自分の適正や実力を把握しようとする学生や、地域課題解決型教育（PBL）を通じて地域の課題解決に貢献しようとする学生に「長期インターンシップ支援金」を支給して応援しています。

C 附属学校園の教育活動等に対する支援

附属学校の教育環境の整備

教育学部附属学校の施設設備等、教育環境の整備を支援することで、附属学校の幼児・児童・生徒の教育活動の充実のほか、教育実習や現職教員研修など附属学校の役割・特色でもある教員養成・現職教員研修機能の充実を図ることを目的とし、平成31年度事業として「附属学校教育環境整備事業」を創設しました。



冠寄附

50万円以上のご寄附については、基金の使途A～Cをご選択の上、「寄附金名称」「使用目的」をつけることができます。（名称例：「島大太郎基金」 目的例：「海外留学支援」等）

寄附金額および支払い方法

●1口 5,000円（毎月の継続寄附の場合は1口500円～）

本基金の趣旨をご理解いただき、複数口でのご協力をお願いします。

1. ゆうちょ銀行口座へ振込む場合

- 付属の「払込取扱票」により、必要事項をご記入の上、お振込ください。（振込手数料は本学負担です。）
「払込取扱票」は「寄附書」を兼ねていますので、付属の「寄附書」はご返送不要です。
- ゆうちょダイレクトをご利用の場合は、付属の「寄附書」に必要事項をご記入の上、ご返送ください。

2. 山陰合同銀行口座へ振込む場合

- 金融機関窓口、ATM、ネットバンキング等で下記口座へお振込ください。
- 振込手数料はご自身で負担していただきますので、あらかじめご了承ください。
- 付属の「寄附書」をご記入の上、ご返送ください。また、「寄附書」に記載のお名前でお振込ください。

金融機関名	支店名	種別	口座番号	口座名
山陰合同銀行	島大前	普通	3689197	シマネダイガク (シエンキキン)

3. クレジットカードをご利用の場合

- 本学ホームページからお申込ください。
- 付属の「寄附書」はご返送不要です。

支払い方法は、以下の①②③④よりお選びいただけます。

- ① 毎月の継続寄附 ————— 毎月1口500円～
 ② 年2回(7月と1月)の継続寄附 ——— 1回につき1口5,000円～
 ③ 年1回の継続寄附 ————— 1回につき1口5,000円～
 ④ 今回1回のみの寄附 ————— 1口5,000円～



島大 支援基金

検索

※個人情報保護法に基づき、寄附書に記載いただいた情報は、「島根大学支援基金」事業に関わる業務（お礼状、領収書の送付、寄附者一覧作成、島大会員制度、基金推進活動に関すること等）以外には一切使用いたしません。

寄附書記載の注意点

のりしろを切り取るのを忘れないでください

寄 附 書	
● お名前	● おところ
● 生年月日	● 電話番号
● 寄附の金額 (1口 5,000円)	● 寄附の用途
● 寄附の用途	● 寄附者さまと本学の関係
● 寄附者さまと本学の関係	● 島大会員への入会
● 島大への思い	● 島大への思い

冠寄附 (50万円以上) □A □B □C
 寄附金名称: _____
 寄附目的: _____

記入されたお名前とおところで領収書を発行します。確定申告等の際に必要となりますので、正確にご記入ください。

寄附者さまと本学の関係をご記入ください。

島大会員への入会は □希望する を選択ください。

A、B、Cより選択ください。複数の用途にご寄附いただく場合は、それぞれの口数と金額をご記入ください。選択されない場合はAを選択されたものとしてお取り扱いいたします。

税制上の優遇措置

島根大学へのご寄附は、個人・法人等を問わず、寄附金控除の対象となります。

◎個人からのご寄附（所得税法第78条第2項第2号）

寄附金が2,000円を超える場合、その超えた金額が控除の対象になります。

- 「島根大学支援基金」使途Aへのご寄附（経済的理由により修学が困難な学生に対する支援）
寄附者様において税額控除または所得控除どちらか有利な制度を選択いただけます。

どちらか有利な方を選択

【税額控除】 **所得税額から直接寄附金額の一定割合が控除**されます。

所得税額－〔(寄附金合計額－2,000円)×40%〕

※寄附金合計額は総所得金額等の40%が上限、税額控除額は所得税額の25%が上限です。

【所得控除】 **寄附された年の課税所得から控除**を受けることができます。

〔総所得金額－(寄附金合計額－2,000円)〕×税率＝所得税額

※寄附合計額は、総所得金額等の40%が上限です。

●「島根大学支援基金」使途B、Cへのご寄附

（大学の教育・研究活動等に対する支援、附属学校園に対する支援）

所得控除の制度が適用されます。

●控除額の目安（所得金額：500万円の場合）

※右記はあくまでも目安となっております。収入の種類、各種所得控除等により変動が生じることがあります。

寄附金額	(2口) 10,000円
税額控除の場合	3,200円
所得控除の場合	1,600円

◎法人等からのご寄附（法人税法第37条第3項第2号）

全額損金算入が可能です。課税対象となる所得から支出した寄附額の全額が、一般寄附金の損金算入限度額とは別枠に控除されます。

ご遺贈による寄附制度について

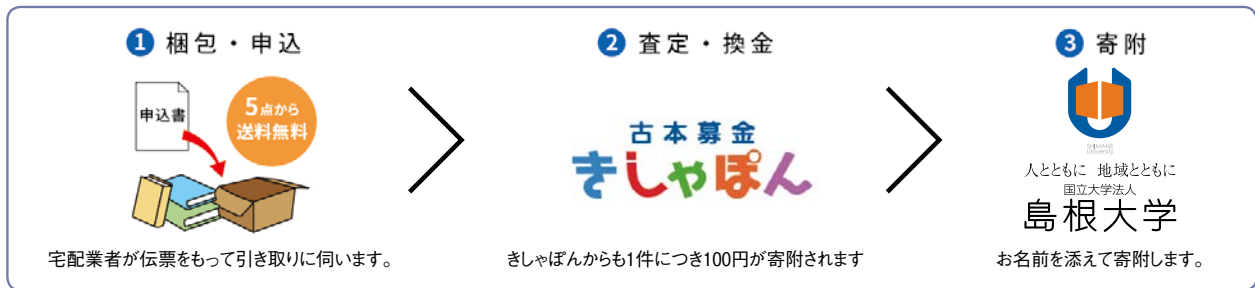
ご遺言により、ご自分の築き上げられた財産を公益団体や特定の人物などに寄附することを遺贈といいます。島根大学では、遺贈によるご寄附をお考えいただいている方のため、高度な専門性と豊富な経験を有する信託銀行等と提携し、その手続きの便宜を図ることとしました。この制度にご関心のある方は、支援基金担当までお気軽にお問い合わせください。

島根大学古本募金のご案内

● 島根大学古本募金とは

読み終えた本・DVD等をご提供いただくことで、その査定換金額が島根大学に寄附され、その寄附金を島根大学支援基金として活用させていただく寄附の方法です。申込受付から書籍等の査定・報告、および送金は「古本募金きしゃぽん」（運営：嵯峨野株式会社）が担当します。ご不要になった本やDVD等で学生の学びをご支援いただけませんか。

● 古本募金の流れ



● お申込み・お問い合わせ

 **0120-29-7000** 「島根大学に寄附したい」とお伝えください

受付：9時～18時（運営協賛）古本募金きしゃぽん／嵯峨野株式会社

ご寄附への謝意

● 大学ホームページ等へのご芳名掲載

年度内寄附累計額が5,000円以上の寄附者様のご芳名を基金ホームページ、広報誌（広報しまだい）に掲載させていただきます。

● 感謝状の贈呈

年間（1月～12月）寄附累計額が100万円以上となった寄附者様に、学長から感謝状を贈呈いたします。

● 支援基金寄附者御芳名板へご芳名掲載

平成29年1月以降の寄附累計額により、ご芳名を掲載させていただきます。

御芳名板は、松江キャンパス本部棟1F正面玄関に設置しております。

	ブロンズ板	シルバー板	ゴールド板
個人	10万円以上	50万円以上	100万円以上
法人・企業・団体等	50万円以上	100万円以上	500万円以上



● 紺綬褒章

公益のために私財をご寄附いただいた方に授与される『紺綬褒章』に、ご寄附者のご意向を確認の上、公益団体認定を受けている本学から文部科学省に申請いたします。

授与基準に基き、500万円以上のご寄附をいただいた個人及び1,000万円以上のご寄附をいただいた団体を対象としております。



島大会員加入方法

島根大学支援基金へ一定額（5,000円）以上ご寄附いただいた方はどなたでもご加入（永年会員）いただけます。支援基金寄附書等の島大会員入会希望欄にチェックし加入申込みをしてください。受付後、会員証をご送付いたします。



会員特典

島大会員には、年間（1月～12月）寄附累計額により、島大オリジナルグッズ等を贈呈します。

●ご寄附額による特典内容

ご寄附額	郵送によるイベントのご案内 広報誌送付(1年間)	島大カレンダー (4月始まり)	島大オリジナルグッズ
5千円～1万円未満	○	—	—
1万円～3万円未満	○	○	—
3万円～5万円未満	○	○	下記グッズAより1点贈呈
5万円～10万円未満	○	○	下記グッズAより2点贈呈
10万円～20万円未満	○	○	下記グッズAより3点贈呈
20万円～30万円未満	○	○	下記グッズAより4点贈呈
30万円～50万円未満	○	○	下記グッズAより5点贈呈
50万円～	○	○	下記グッズA・Bより6点贈呈 ※ただし6点のうちBからは1点のみ

※イベントのご案内、広報誌、カレンダー、オリジナルグッズ贈呈は島大会員様限定の特典内容です。

島大オリジナルグッズ一覧（2019年1月～12月）

本学は、2019年度に開学70周年を迎えます。これを記念し、今回は「開学70周年記念ロゴ入りグッズ」をご用意しました。

A

1
アルコック
オールドグラス

◎サイズ：Φ79×93mm

2
レザー
マウスパット
(ミルクイエローホワイト)

サイズ：◎150×170mm
※マウスは付きません。

3
コンパクト
A6ノート

◎色指定不可
サイズ：175×110×15mm

4
ブックカバー
文庫本サイズ
(ブラウン)

◎サイズ：166×120mm
収納厚さ15mm程度まで

5
大学番茶

◎本庄総合農場製
◎500g

A

B

6
島大農場ジャム
(3本セット)

◎いちご・りんご・ブルーベリーの
3本セット
◎本庄総合農場製
◎190g×3本

7
出雲おろち大根
みぞれソース

◎島根大学育成「出雲おろち大根」を使用した万能レゾング。◎200ml×2本
◎出雲市・山太販売

8
島根大学の芋焼酎
神在の里

◎神西砂丘農場産さつまいも使用
◎720ml

9
しまね大学が作った
トマトジュース

◎720ml×1本
◎大学農場産トマトを食塩不使用のジュースに加工

1
ボールペン

◎クロス製
◎サイズΦ13.5×144mm

★ 印は開学70周年記念ロゴ入り ★ 印は本学名を名入れ

※広報誌（広報しまだい）の贈呈は学外者のみ。※島大会員への郵送によるイベントのご案内及び広報誌（広報しまだい）送付期間については、原則として寄附をいただいた年の翌年までとし、翌年にも継続的に寄附があった場合は、更にその翌年にも送付します。なお、寄附がなかった年の翌年にはイベントのご案内は送付しませんが、ホームページ等でイベント情報入手することによりイベントにご参加いただくことが可能です。

島大会員 Q&A

Q 島大会員になると、会の役員等がまわってくることがありますか？

A 島大会員とは、島根大学支援基金にご寄附いただいた方のうち、加入申込みをされた方を島大会員と呼びし、本学が情報発信などを行っていくものです。役員等をお願いすることはございません。

Q 会員になるとどのような特典（メリット）がありますか？

A 会員は会員特典を受けることができます。

Q 会員にならない場合の寄附特典はどのようなものがありますか？

A 会員外の寄附者様への特典は、大学ホームページ等へのご芳名掲載、感謝状の贈呈、御芳名板への掲載となります。島大会員は、寄附者様に本学へのご理解を深めていただくために設けたものですので、是非ご加入をお願いいたします。

Q 会員証は紛失した場合、再発行してもらえますか？

A 会員証は原則として再発行しませんので、大切に保管してください。

Q 一回のみの寄附でも、会員期間は永年ですか？

A 会員資格は永年ですが、会員特典の記載のとおり、郵送によるイベントのご案内等はご寄附をいただいた年の翌年までとなります。基金による学生支援には皆様からの継続的なご支援が不可欠ですので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

「島大会員のつどい」について

本学では、島根大学支援基金を通じて本学を応援して下さる島大会員の皆様に感謝の気持ちを示すとともに、本学と会員との交流を図ることを目的に「島大会員のつどい」を開催しています。

平成30年度は、松江の銘酒「豊の秋」醸造元である米田酒造株式会社において酒蔵見学と試飲会を行い、遠くは大阪府からお越しいただき、約30名の参加となりました。

酒蔵見学では米田則雄代表取締役社長による丁寧な説明を受け、その後の試飲会では期間限定のしぼりたて新酒等を試飲し、服部学長を囲んで和やかに交流いただきました。

閉会に際しては、参加者から「貴重な体験ができた」「また参加したい」との声が寄せられるなど、有意義な機会となりました。

今後も島大会員の皆様に喜んでいただけるイベントを企画してまいります。



米田酒造の酒蔵見学



試飲会で和やかに交流

